

音楽芸術運営専攻（アートマネジメント）

ディプロマ・ポリシー

研究計画で設定された各自の目標が達成されたことが確認されることが必要である。

具体的には、

- ・アートマネジメントに関する高度な専門知識が獲得されていることが、修士論文もしくは修士研究の内容、および口頭試問を通して確認されること
 - ・幅広い国際的な識見と実践・研究能力等が確認され、「芸術文化の確かな担い手」となる実務家や研究者として社会に貢献すると期待できること
 - ・音楽および芸術全般に関して広範な知識と教養を得たことが、学科目等の試験を通して確認できることである。
- その上で、学位審査に通ることが必要である。

カリキュラム・ポリシー

アートマネジメントの分野において専門性の高い研究を行うために、研究計画書を作成して目標を定め、それに基づいて実践・研究を進める。

最も重要なのは、アートマネジメントの高度な専門的能力と研究能力を養うために主科の専門科目を学び、修士論文完成に向けての研究もしくは修士研究を行うことである。さらに関連諸科目の学修を通して幅広く関連分野の知識を獲得し、実務家や研究者として芸術文化活動を担うための、コミュニケーション能力と実践力を養う。また音楽全般、芸術全般にわたる広範な知識を身につける。

【履修例】

	(例1) 舞台制作を中心に研究する	(例2) 文化政策を中心に研究する
必修（専門）	音楽芸術運営特別演習① 4 音楽芸術運営特別演習② 4	音楽芸術運営特別演習① 4 音楽芸術運営特別演習② 4
必修（共通）	西洋音楽史特殊講義 2	西洋音楽史特殊講義 2
	↓	↓
コース選択必修（専門）	音楽芸術制作研究Ⅰ 2 音楽芸術制作研究Ⅱ 2	文化政策研究Ⅰ 2 文化政策研究Ⅱ 2
	↓	↓
コース選択（専門）	文化政策研究Ⅰ 2 音楽芸術環境研究Ⅰ 2 音楽実技（各楽器）Ⅰ 2 音楽実技（各楽器）Ⅱ 2	音楽芸術制作研究Ⅰ 2 音楽芸術環境研究Ⅱ 2 記述統計特殊講義 2 音楽実技（各楽器）Ⅰ 2
	↓	↓
選択（共通）	学外実習研究① 1 音楽マネジメント特殊講義Ⅰ 2 音楽マネジメント特殊講義Ⅲ 2 音楽マネジメント特殊講義Ⅳ 2 音楽マネジメント特殊講義Ⅴ 2 音楽マネジメント特殊講義Ⅵ 2 実践英語研究① 1	学外実習研究① 1 音楽マネジメント特殊講義Ⅰ 2 音楽マネジメント特殊講義Ⅱ 2 音楽マネジメント特殊講義Ⅲ 2 音楽マネジメント特殊講義Ⅴ 2 音楽マネジメント特殊講義Ⅵ 2 実践英語研究① 1
	↓↓↓	↓↓↓
修了要件	32単位以上 計 34	32単位以上 計 34

【基本的な注意事項】

- ・右表中※印は半期科目。
- ・履修例を参考に履修登録をすること。
- ・教職専修免許状取得希望者は、教職欄に○が付いている科目を24単位以上修得すること。

【実技試験注意事項】

- ・修士論文：修士論文を提出。
それに基づいて口頭試問を受ける。
- ・修士研究：舞台芸術作品を創作、上演する。
その上で、その成果を論文にまとめる。

音楽芸術運営専攻（アートマネジメント）

2022 年度入学

科目 区分	教 職	科目名	1 年次			2 年次			備考
			必修	選択 必修	選択	必修	選択 必修	選択	
専門 科目		音楽芸術運営特別演習①	4						
		音楽芸術運営特別演習②				4			
		文化政策研究Ⅰ		2※					どちらか1セット（2科目） 選択必修
		文化政策研究Ⅱ		2※					
		音楽芸術制作研究Ⅰ		2※					
		音楽芸術制作研究Ⅱ		2※					
		音楽芸術運営基礎演習			1※				
		音楽芸術環境研究Ⅰ			2※				
		音楽芸術環境研究Ⅱ			2※				
		記述統計特殊講義			2※				
	○	音楽実技（ピアノ）Ⅰ			2				これらの科目は2年間に2科目まで 履修可。但し、同年次にⅠとⅡで同 じ楽器の履修は不可。 教職専修免許取得希望者は、ピアノ 又は声楽を4単位分修得すること。 （ピアノと声楽2単位ずつでもよい）
	○	音楽実技（ピアノ）Ⅱ			2				
		音楽実技（弦管打）Ⅰ			2				
		音楽実技（弦管打）Ⅱ			2				
		音楽実技（電子オルガン）Ⅰ			2				
		音楽実技（電子オルガン）Ⅱ			2				
	○	音楽実技（声楽）Ⅰ			2				
	○	音楽実技（声楽）Ⅱ			2				
	○	西洋音楽史特殊講義	2※						
		音楽研究法基礎			1※				
共通 科目		学外実習研究①			1				所定の審査を受け、履修指示された者 のみ履修可。シラバスを参照のこと。
		学外実習研究②						1	
		音楽と学術研究Ⅰ			1※				
		音楽と学術研究Ⅱ			1※				
		ビリオド演奏研究Ⅰ			2※				
		ビリオド演奏研究Ⅱ			2※				
	○	作品研究特殊講義Ⅰ			2※				
	○	作品研究特殊講義Ⅱ			2※				
	○	作品研究特殊講義Ⅲ			2※				
	○	作品研究特殊講義Ⅳ			2※				
	○	西洋音楽史研究Ⅰ			2※				
	○	西洋音楽史研究Ⅱ			2※				
	○	西洋音楽史研究Ⅲ			2※				
	○	西洋音楽史研究Ⅳ			2※				
	○	音楽指導論特殊講義			2※				
		音楽芸術と社会特殊講義Ⅰ			2※				
		音楽芸術と社会特殊講義Ⅱ			2※				
		音楽マネジメント特殊講義Ⅰ			2※				
		音楽マネジメント特殊講義Ⅱ			2※				
		音楽マネジメント特殊講義Ⅲ			2※				
		音楽マネジメント特殊講義Ⅳ			2※				
		音楽マネジメント特殊講義Ⅴ			2※				
		音楽マネジメント特殊講義Ⅵ			2※				
		実践英語研究①			1※				
		実践英語研究②			1※				
		実践伊語研究①			1※				
		実践伊語研究②			1※				
	○	原典講読研究Ⅰ			2※				
	○	原典講読研究Ⅱ			2※				
		海外特別研修①			1				
		海外特別研修②						1	
		日本語文法とコミュニケーション研究Ⅰ			1※				指定された者のみ履修可 （6ページ参照）
		日本語文法とコミュニケーション研究Ⅱ			1※				
		日本語と日本社会研究Ⅰ			1※				
		日本語と日本社会研究Ⅱ			1※				
		実用日本語研究Ⅰ			1※				
		実用日本語研究Ⅱ			1※				
		日本語日本文化研究Ⅰ			1※				
		日本語日本文化研究Ⅱ			1※				
		日本語日本文化研究Ⅲ			1※				
		実践日本語研究Ⅰ			1※				
		実践日本語研究Ⅱ			1※				
		実践日本語研究Ⅲ			1※				
		実践日本語研究Ⅳ			1※				
		実践日本語研究Ⅴ			1※				

オペラ

声楽研究

ピアノ

弦・管・打楽器

電子オルガン

作 曲

指 揮

アート
マネジメント

音楽療法